

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【公表番号】特表 2013-534664 (P2013-534664A)

【公表日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2013-048

【出願番号】特願 2013-515724 (P2013-515724)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/10 (2006.01)

G 0 6 F 9/46 (2006.01)

G 0 6 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/10 3 3 0 C

G 0 6 F 9/46 3 5 0

G 0 6 F 9/30 3 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 18 日 (2014.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実行するアクションの通信を容易にするための方法であって、コンピュータ・システムが、

サービス・コール論理プロセッサ (S C L P) 命令の実行に応答して制御ブロックを指定するステップであって、前記制御ブロックが、イベント・タイプ、アダプタの機能ハンドル、アダプタ・タイプ、およびアクション・クオリファイアを含み、及び、前記アクション・クオリファイアに基づいてアクションを実行し、前記アクションが前記アダプタのリセットまたは修理アクションの要求の一方を含む、前記指定するステップと、

前記 S C L P の完了に応答して、オペレーティング・システムに通知するステップと、前記通知に応答して前記オペレーティング・システムにより発行されたイベント情報記憶コマンドの実行に応答して、前記アクションに関する情報を取得するステップと
を実行することを含む、前記方法。

【請求項 2】

前記情報が、前記アダプタについて実行された前記アクションに関連付けられたイベントを示すイベント・コードを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記イベントが、前記機能ハンドルにより識別された前記アダプタが構成状態に移ったこと、前記アダプタが保留状態からスタンバイ状態に移ったこと、前記アダプタを構成解除したこと、前記アダプタが前記構成状態からスタンバイまたは保留状態に移ったこと、記憶量に変更されたこと、および識別されていない 1 つ以上のアダプタがスタンバイ状態であり得ることの 1 つを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記オペレーティング・システムが、論理的にパーティション化された処理ユニットの論理パーティションにおいて実行しており、前記アダプタが前記論理パーティションにより論理的に所有されている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 S C L P が、前記アクションを要求するために前記オペレーティング・システムによって発行され、前記オペレーティング・システムによる要求が、前記アダプタのタイプおよびオペレーティング・システムのタイプとは無関係である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記実行することが、前記イベント・タイプについて前記アクションを実行するたびに一貫して前記アクションを実行することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 コンピュータ・システム が、

前記制御ブロックの受信に 응답して、システム・ログ内におけるエントリの生成を要求するステップであって、前記エントリが前記制御ブロックからの情報を含む、前記要求するステップ

を更に実行することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記エントリの生成を要求する ステップ が、

前記エントリを生成するためにサービス・プロセッサに要求を送信する ステップ

を含み、

前記 コンピュータ・システム が、

前記サービス・プロセッサによって、前記要求において与えられたサービス基準コードを解析する ステップ と、

前記サービス・プロセッサによって、前記サービス基準コードに基づいたサービス修理アクションを開始する ステップ と

を更に実行することを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記アクションにアクション・クオリファイアが関連付けられており、前記サービス基準コードがアダプタ・タイプおよびアクション・クオリファイアの組み合わせに対して一意である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

イベントの通信を容易にするための方法であって、コンピュータ・システムが、

アダプタに関連してイベントが発生したことに 응답して、オペレーティング・システムに通知するステップと、

通知に 응답してオペレーティング・システムにより発行されたイベント情報記憶コマンドの実行に 응답して、前記イベントに関連付けられた情報を取得するステップであって、前記情報が、前記アダプタを識別する機能ハンドル及び前記アダプタの状態を与えるイベント・コードを含み、前記イベント・コードが、前記機能ハンドルにより識別された前記アダプタが構成状態に移ったこと、前記アダプタが保留状態からスタンバイ状態に移ったこと、前記アダプタを構成解除したこと、前記アダプタが前記構成状態からスタンバイまたは保留状態に移ったこと、記憶量が変更されたこと、および識別されていない 1 つ以上のアダプタがスタンバイ状態であり得ることの 1 つを示す、前記取得するステップと

を含む、前記方法。

【請求項 11】

前記アダプタが、P C I (P e r i p h e r a l C o m p o n e n t I n t e r c o n n e c t) に基づくアダプタである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

実行するアクションの通信を容易にするためのコンピュータ・プログラムであって、コンピュータに、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法の各ステップを実行させる、前記コンピュータ・プログラム。

【請求項 13】

実行するアクションの通信を容易にするためのコンピュータ・システムであって、メモリと、

前記メモリと通信状態にある処理ユニットと
を備えており、

前記処理ユニットが、請求項 1 ～ 1 1 のいずれか一項に記載の方法の各ステップを実行する、前記コンピュータ・システム。

【請求項 1 4】

実行するアクションの通信を容易にするためのコンピュータ・システムであって、
メモリと、

前記メモリと通信状態にある処理ユニットと
を備えており、

前記コンピュータ・システムが、請求項 1 ～ 1 1 のいずれか一項に記載の方法の各ステップを実行するように構成されている、前記コンピュータ・システム。